

平成30年度

しゅうとくかくにんちょうさ

# 学習習得確認調査

4年生

# 算 数

じっし 実施時間：40分

## 注 意

- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 この問題用紙に学年・組・とうろく登録番号を書きましょう。
- 3 かいとう解答用紙の右下のらんにマスターシールをはり、学年・組・登録番号を書きましょう。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きましょう。
- 5 ア・イ・ウ・…の記号で答える問題は、問題の指示にしたがって、その記号を解答用紙の決められたらんに書きましょう。
- 6 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめましょう。

学年	組	登録番号

世田谷区教育委員会

1

次の計算をしましょう。(4)は、あまりがあれば、あまりも出しましょう。

(1)  $4321 + 608$

(2)  $835 - 218$

(3)  $328 \times 13$

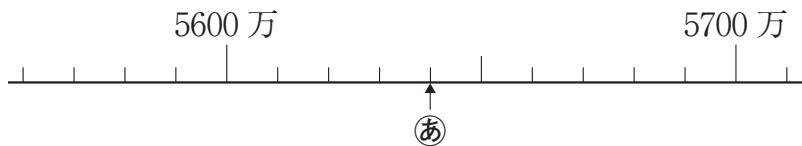
(4)  $70 \div 8$

(5)  $5.2 - 1.9$

(6)  $\frac{3}{7} + \frac{2}{7}$

## 2 次の問題に答えましょう。

- (1) 次の数直線で、Ⓐの目もりが表す数を書きましょう。



- (2) 次の文の  にあてはまる数はどれでしょうか。答えはア～エから1つ選んで、その記号を書きましょう。

千を890こ集めた数は、を10でわった数と等しい。

ア 8万9千 イ 89万 ウ 890万 エ 8900万

## 3 次の問題に答えましょう。

- (1) 次の  にあてはまる数を答えましょう。

① 1分 =  秒

② 3時間40分 =  分

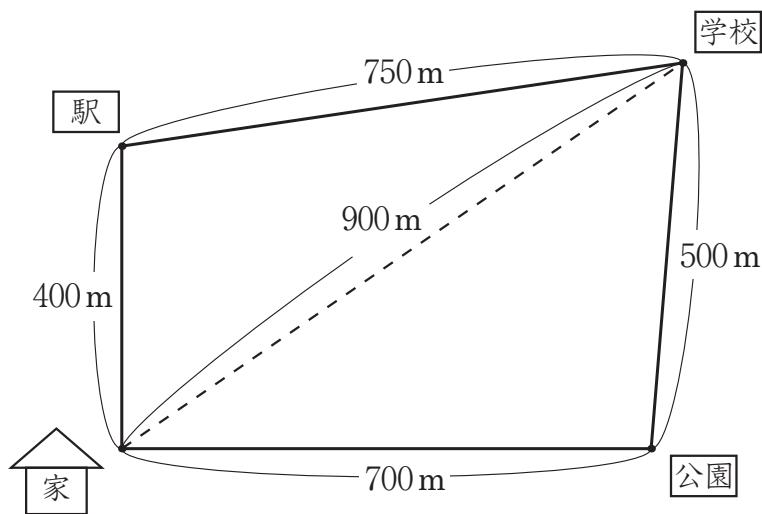
- (2) ゆうこさんたちは、午後1時40分に公園に着きました。公園で遊んだあと、午後4時10分に公園を出ました。ゆうこさんたちが公園にいた時間は何時間何分でしょうか。

## 4

次の問題に答えましょう。

- (1) みかさんは、4kgのねん土を持っていました。このねん土を、<sup>きのう</sup>昨日は1kg400g、今日は900g使いました。残ったねん土の重さは、何kg何gでしょうか。

- (2) 下の地図を見て、次の問題に答えましょう。



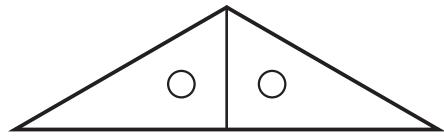
- ① 家から学校までのきよりは、何mでしょうか。

- ② 家から駅の前を通って学校まで行くときの道のりは、何km何mでしょうか。

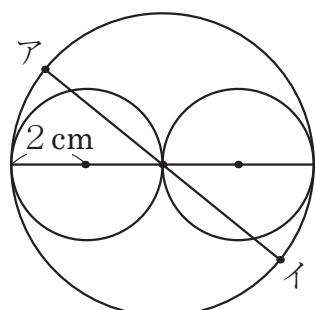
## 5

次の問題に答えましょう。

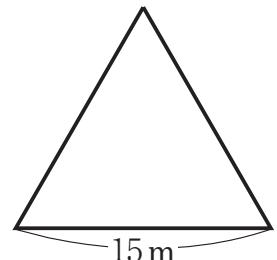
- (1) 右の図のように、同じ形の三角じょうぎを2つ組み合わせて大きな三角形を作りました。この大きな三角形は何という三角形でしょうか。もっともふさわしい名前を書きましょう。



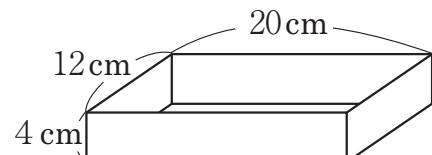
- (2) 右の図のように、半径2cmの2つの円が大きい円の中にぴったり入っています。大きい円と2つの小さい円の中心は一直線上にならんでいます。直線アイの長さを求めるましょう。



- (3) 1本のロープを2回折り曲げて、右の図のような正三角形を作りました。使ったロープの長さを求めましょう。



- (4) 右の図のような箱があります。この箱に半径2cmの球をぴったり入れるとき、入れることができる球の数を求めましょう。ただし、球は箱の上にはみ出さないようにできるだけ多く入れるものとします。



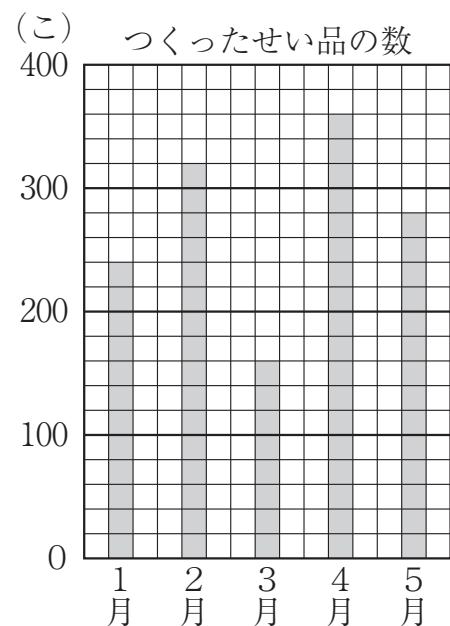
## 6

次の問題に答えましょう。

(1) 右のぼうグラフは、工場で1月から5月につくったせい品の数をまとめたものです。これを見て、次の問題に答えましょう。

① このぼうグラフの1目もり分が表している数を答えましょう。

② 1月から5月まで、つくったせい品の数がいちばん多かった月といちばん少なかった月の、つくったせい品の数のちがいを求めるましょう。



(2) 下の表は、さゆりさん的小学校の図書室で、ある1週間に4年生がかりた本のさつ数を調べて、組別にとちゅうまでまとめたものです。このとき、次の問題に答えましょう。

本のかし出し調べ(さつ)

組\種類	物語	社会	科学	その他	合計
1組	15	8		0	
2組	④	5	2	5	30
合計			8	5	⑩

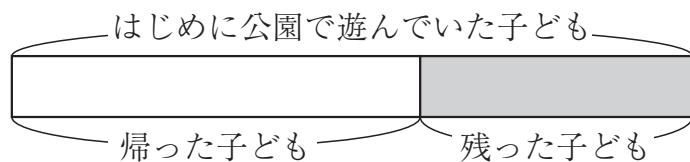
① 表の中の④にあてはまる数を求めましょう。

② 表中の⑩にあてはまる数を求めましょう。

**7**

次の問題に答えましょう。

- (1) 公園で遊んでいる子どもたち15人のうち何人かが帰ったところ、残った子どもは6人でした。下の図は、はじめに公園で遊んでいた子ども、帰った子ども、残った子どもの3つの関係を図に表したものです。



この関係を、帰った子どもを□人として式に表すとき、アにあてはまる式を、□を使って書きましょう。

$$\boxed{\text{ア}} = 6$$

- (2) 1 さつ100円のノートを何さつか買ったら、代金は800円になりました。下の図は、買ったノートの数を□さつとして、代金と買ったノートの数の関係を図に表したものです。



この関係を式に表すとき、イにあてはまる式を、□を使って書きましょう。

$$\boxed{\text{イ}} = 800$$

